

知識創造経営とイノベーション

-知識創造のリーダーシップ育成



概要

知識は現在、企業にとって最も重要な経営資源の一つと考えられている。技術など企業の知的資産を管理するための「ナレッジマネジメント」が注目されているが、単なる知的財産マネジメントや情報マネジメントにとどまらず、組織が個人の知識を共有・活用しながら、新たな知識を組織的に創造・活用して行くことが競争優位の源泉となる。コースでは知識創造のプロセスを理解するためのモデルと方法論を講義とケースディスカッションを通して取得する。

対象

トップマネジメント～コア・ミドルマネジメント

プログラム概要

* プログラムは1日、2日間コースの設定可

一日目

1. 知識経営とは何か

- ・知識経営とは何か、なぜそれが現在必要とされているのか
- ・経営にとっての知識の重要性

2. 知識創造プロセス

- ・組織的知識創造理論の基本的な枠組みと、これを構成する主要な概念
- ・暗黙知、形式知、SECIモデル、知識ビジョン、場、知識資産、知の作法

3. ケース：セブンイレブンジャパン

- ・同社の競争優位の源泉とは？
知識創造はPOSシステムのようなITシステムではなく、それを運用する人間関係が重要であること、一部のスタッフではなく、各店舗の従業員全ての「知」を集結する知の総動員システムを作り上げたところに同社の競争優位の源泉があることを理解する

4. ケース：トヨタ プリウス

- ・トヨタプリウスのイノベーションプロセスを知識創造の観点から分析する

5. 知識創造のリーダーシップ

- ・トヨタプリウスのケース分析を通して知識創造のリーダーシップの概念と実践について理解する

二日目

6. 知識創造の方法論

- ・知識創造を行うための方法論について。サントリー-DAKARAのケースなど

7. ケース：前川製作所

- ・ケース分析を通してこれまで学んだ知識創造の概念と方法論、特に顧客との知の共創についての理解を深める

講師プロフィール



遠山 亮子 (とよま りょうこ)

「知識創造戦略論の権威」

- 中央大学大学院戦略経営研究科(中央大学ビジネススクール) 教授
- 履歴: 米国ミシガン大学経営大学院博士課程修了、Ph. D.取得、北陸先端科学技術大学院大学准教授を経て現職
- 専門分野: 国際経営戦略、イノベーションマネジメント
- 企業研修: 大手企業多数

問合せ先

中央大学戦略経営アカデミー 事務局
〒112-8551 東京都文京区春日1-13-27
TEL: 03-3817-7463 FAX:03-3817-7464
HP: <http://www2.chuo-u.ac.jp/cbs/ac/> E-mail: ac-info@tamajs.chuo-u.ac.jp